

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築技術者倫理						
科目区分	専門	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	建築工学コース: 必修科目 建築コース・デザインコース: 選択科目						
担当者	小池博・津田和明・河上嘉人・依田浩敏・井原徹・益田信也・堀栄祐						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築技術者としての使命感と倫理観を見につける。 ・包括的な建築教育の領域および特定領域の高度な専門教育の領域を理解できる。 						
日程と内容	第1回 (4/11) : 導入講義、授業の進め方と概要の説明、成績評価の方法 第2回 (4/18) : 建築構造分野 (1) 第3回 (4/25) : 建築構造分野 (2) 第4回 (5/2) : 建築生産分野 (1) 第5回 (5/9) : 建築生産分野 (2) 第6回 (5/16) : 建築環境分野 (1) 第7回 (5/23) : 建築環境分野 (2) 第8回 (5/30) : 建築デザイン分野 (1) 第9回 (6/6) : 建築デザイン分野 (2) 第10回 (6/13) : 建築計画分野 (1) 第11回 (6/20) : 建築計画分野 (2) 第12回 (6/25) : 建築計画分野 (3) 第13回 (6/27) : 建築計画分野 (4) 第14回 (7/4) : これまでの授業の総括、総合演習 第15回 (7/11) : 総合演習の解説 第16回 (7/25) : 定期試験						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	合格率だけ見ると97%と非常に高く、9割以上の目標達成度と言えなくも無い。ただし、合格者の平均点は78点であり、学生の理解度からする達成度としては8割弱と言うことができる。						
反省点	人数の割には大きな教室が割り当てられており、学生たちは好んで後ろの席に座ろうとする。そのため、なにも注意をしなれば、前半分の席が空席のまま授業を行なうこととなる。あくまでも個人的な経験則であるが、学生と教員の距離が短ければ短いほど、学生の授業への集中度は増す。自分の担当の授業時は後ろ半分に座るのを禁じていたが、学科としても対応が必要かと思われる。						
来年度の計画	今年度の講義内容に関しては個々の教員に委ねている。恐らく大きな変更はないものと思われる。来年度より、今年度新規で着任された小野先生と堀先生にも担当して頂くことになると思われる。						
授業評価アンケートに対するコメント	コメントを見ると、いろいろな分野の実情が学べてたいへん参考になったと言う意見が主流であり、本講義の意義が見出せる。一方で、ひとりニコマというのが短いと感じる学生も、数は少ないがいた。ただ、コメントは高評価である反面、10段階評価での点数はかなり辛めだった。学生の本音がコメントに表れていないかもしれない。						
履修登録者数	59名	定期試験 受験者数	59名	合格者数	57名	合格率	97%